



特定非営利活動法人

日本伝統芸能教育普及協会

会報  
14号  
2017.春

いつになく世界情勢に不穏な空気がながれています。このような時代にこそ文化が持つ力を発揮することが必要なのではないのでしょうか。  
文化の持つ力を改めて発見出来る一年となりますように。  
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



日韓共同制作作品「布花」選曲・振付・構成・指導：志田房子・田銀子



韓国舞踊の代表的な作品「扇の舞」 振付：金白峰

第二部 金白峰の世界より



志田房子先生・金白峰先生



## 文楽 人形遣いの技

吉田勘彌

人形遣い

むすびの会 理事



むすびの会 文楽公演鑑賞より

人形遣いの修行はまず『足遣い』から始まります。平行して主遣いの修行も始めます。最初は端役や子役からなので『重さ』はさほど気にならないのですが、20年を過ぎると、大きな立役や、立ち姿の多い役がついて来ます。『重さに耐えて最後までちゃんと持って遣えるだろうか。』といつも頭をかすめます。『重さに負けてしまうと演技どころではなくなる』からです。

私が入門 20年目くらいの『若手発表会』で義経千本桜道行初音の旅の静御前の役がつかしました。重くて最後まで『人形の姿勢を保つ』のが困難で、稽古の後思わず簀助師匠に『おっしょはん、なんであんなに軽々お持ちなんですか?』と尋ねました。

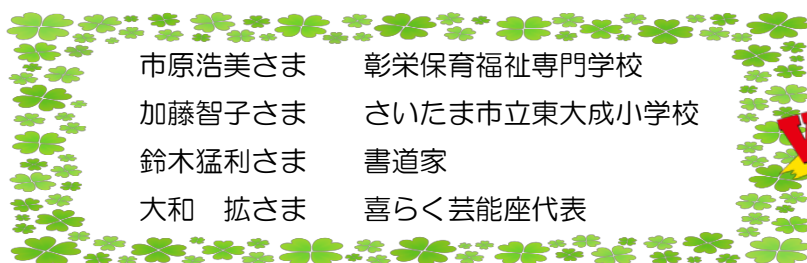
『コツがあんねん。』答えはそれだけでした。

私の最初の師匠(先代勘十郎)は『肘を殺せ』と仰っていました。

胴串を持つ左手をまっすぐ、肘を外に曲げずにベストポジションをキープする、結局は基本を忠実に、経験を積んで余分な力が抜け、必要最小限の力で持てるようになることこそ『コツ』なのでしょう。最近になって私も人形が『軽く』感じられるようになってきました。

しかしながら、御年 80 を悠に越えられている簀助師匠を拝見していますと『それ以上の何か』がきっとあるはず、と思わずにはられません。

## 8. 会員情報 新入会者



市原浩美さま 彰栄保育福祉専門学校  
加藤智子さま さいたま市立東大成小学校  
鈴木猛利さま 書道家  
大和 拡さま 喜らく芸能座代表

WELCOME

編集後記 昨年度は会の活動の幅が広がり、報告内容も多様になりました。オリンピック・パラリンピックまであと3年。伝統文化が活用される機会が広がり、その後も大切にされる世の中となることを願って、当会もこの3年間の活動を大切に進めたいと思いました。 Y.M

発行 2017年4月 特定非営利活動法人 日本伝統芸能教育普及協会 むすびの会  
〒145-0071 東京都大田区田園調布 1-12-14-207 <http://www.musubinokai.org>

## 活動報告

### 1. 通常総会 (参加者 18名)

2016.5.28(土) 13:00~13:40 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント 17F  
第13回通常総会が行われました。詳細は議事録(昨年発送)の通りです。

### 2. 講座主催 (参加者 33名)

2016.5.28(土) 14:00~15:20 明治大学駿河台キャンパスグローバルフロント 17F

#### 講座①「韓国での学校教育における韓国舞踊教育について」

講師：田銀子(成均館大学校教授 (重要無形文化財第27号<僧舞>履修者  
明治大学招聘教授)

#### 講座②「むすびの会作成 日本の動きを取り入れた体操開発について」

講師：小田ひとみ(千葉敬愛短期大学准教授)



### 参加者からの感想

なかなか聞けない韓国での舞踊教育の指導内容や、教育システムを知ることが出来て大変貴重な機会でした。韓国では舞踊教育が公立小・中・高校の普通校で指導が行われていること、人間形成をする創造活動として舞踊教育が行われていることを羨ましく思いました。

ひふみ体操は「和」の動きを言葉と共に子どもが楽しみながら動ける体操であると思います。打楽器を入れたり、役柄を決めて役を交代するなど色々なアレンジも出来そうだと思います。

### 3. 指導者紹介支援事業

1) 教員を対象とした研究・技術指導の勉強会として「身体表現」の授業にて  
日本舞踊の指導

2016.6.16 青山学院女子短期大学 (専攻科1年生30名, 先生方)

講師：藤間加賀美(日本舞踊家 かがみ会主宰)

## 7. 公演制作協力

タイトル：日韓交流レクチャー公演 韓国と日本の舞踊にみる“扇と布”

2017.2.24 会場：駐日大韓民国大使館 韓国文化院 ハンマダンホール

共催：明治大学大学院情報コミュニケーション研究科・情報コミュニケーション学部、明治大学研究・知財戦略機構アジア太平洋パフォーミング・アーツ研究所<RIAPPA>、成均館大学校大学院芸術学研究所・芸術学部、金白峰舞踊保傳会



### 事務局より

当日は、満員のお客様をお迎えしました。韓国舞踊、琉球舞踊、日本舞踊における扇扱いなどについてのレクチャー、それぞれの作品上演、そして韓国舞踊家 田銀子先生と琉球舞踊家 志田房子先生による日韓合同作品の披露では会場が感動で一体感に包まれました。第二部では、世界的に著名な韓国舞踊家 金白峰先生振付の作品が韓国から来日した30名の美しいダンサー達により上演されました。

このような学術的にも意義がある公演制作に当会もかかわることが出来、有難い事でした。

### 当日のステージより



オープニング、レクチャー、扇を使った踊り

## 2) 茶の湯サロン

2016.4.10(テーマ:茶碗を通して焼き物について学ぼう), 7.10(茶会参加の前に頂き方の復習), 11.5(茶会体験), 2.4(初釜) 全4回 (参加者4回合計25名)

講師: 中澤宗寿(表千家茶道講師) 大田区内中澤先生ご自宅茶室



### 参加者より

毎回趣き異なるテーマですが、皆さんいつも盛り上がり、楽しいサロンです。多くの方と一緒に頂きたいです。

## 3) 茶道部 活動/毎月1回 現在部員5名

講師: 中澤宗寿(表千家茶道講師) 中澤先生ご自宅茶室

### 部員より

3年目の活動に入り、メンバーそれぞれがお点前をする部分が長くなってきました。お香の香り、炭の匂い、釜からの音、障子をとおした柔らかい光など、日常から少し離れ、雅な和菓子と美味しい抹茶を頂ける至福の時間を過ごしています。様々な切り口からご指導くださる先生の茶道を極める姿にも毎回感激しています。

## 6. コーディネート事業

### 1) 日比谷図書文化館 「小鼓で楽しむ能～能の魅力」2016.10.8

講師: 大倉源次郎(能楽小鼓方 大倉流宗家)



### 事務局より

源次郎先生は、他では滅多に聞けないような日本文化の根底につながるような話を、小鼓を通して分かりやすく、楽しくお話くださるので、どこでも大好評です。

### 2) ホテルカンラ京都「能?～カンラで和時間 Vol.1～」2017.3.18

講師: 大倉源次郎(能楽小鼓方 大倉流宗家)



### 事務局より

当会の京都初進出。京都在住の方に和文化を身近に感じてもらいたいというイベントでした。

## 2) 留学生との交流会における着付け指導

2016.6.30 明治大学情報コミュニケーション学部(留学生、日本人学生33名)

講師: 宮本恵美子(着付け講師)



### 事務局より

浴衣の着方を着物のミニ知識と一緒に教えて頂きました。学生さん達は大変興味深く学んでいました。七夕に因み短冊と団扇を使った文化交流も楽しそうでした。

## 3) 日本の動きでダンシング&ちょこっとコント ひふみ体操

2016.7.22 大田区立松仙小学校, 7.28 大田区立嶺町小学校, 大田区立調布大塚小学校 夏休みスクール(参加者3校合計32名)

講師: 小田ひとみ(千葉敬愛短期大学)、森田ゆい(むすびの会)

### 事務局より

ひふみ体操では後半に表現遊びとしてちょっとしたセリフと芝居のコントが入りますが、芸達者な男の子たちが盛り上げてくれるのが楽しかったです。

## 4) お扇子を使って日本舞踊を踊ってみよう!

2016.7.25 大田区立田園調布小学校 夏休みスクール(参加者20名)

講師: 藤間加賀美(日本舞踊家 かがみ会主宰)

### 事務局より

ディズニー作品リトルマーメイドから、「アンダー・ザ・シー」の曲に合わせて古典的な振付の日本舞踊の踊りを教えて頂きました。子ども達はアリエルになりきり、海の中の世界を表現して楽しんでいました。

## 5) わくわく日本舞踊体験講座～さくらさくらを踊ってみよう!

2016.7.27 大田区立調布大塚小学校 夏休みスクール(参加者10名)

講師: 藤間卯京(藤間流師範)

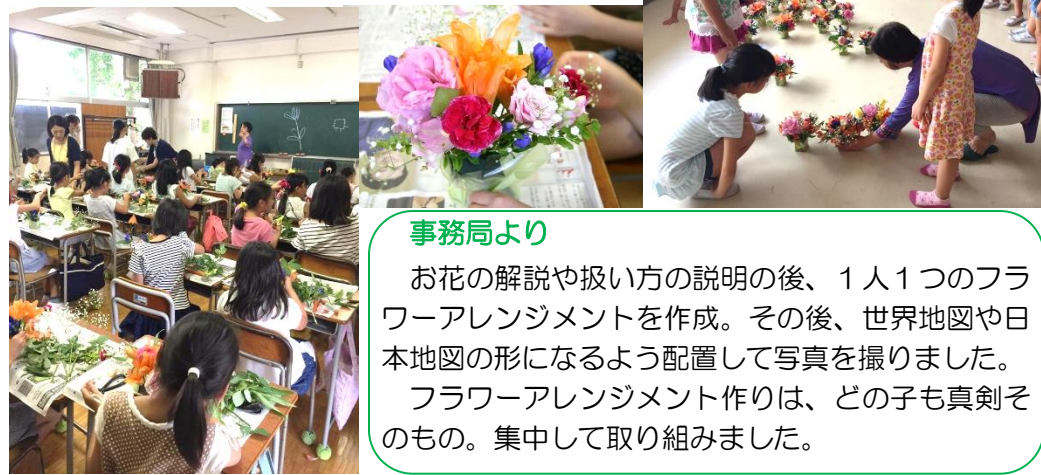
### 事務局より

さくらさくらの音楽に合わせて、子ども達は優雅に踊っていました。様々な扇の説明なども頂きました。また参加者10名のうち、4名が日本舞踊の稽古者で驚きました。文化庁助成の伝統文化子ども教室の受講者とのことでした。

## 6) お花を使ったワークショップ

2016.7.29 大田区立松仙小学校, 雪谷小学校 夏休みスクール(31名, 20名)

講師: 阪本澄(生け花 真池坊家元)



### 事務局より

お花の解説や扱い方の説明の後、1人1つのフラワーアレンジメントを作成。その後、世界地図や日本地図の形になるよう配置して写真を撮りました。

フラワーアレンジメント作りは、どの子も真剣そのもの。集中して取り組みました。

## 7) 歌舞伎学習の為に日本舞踊の指導

2016.4月~7月毎水曜日 栃木県立足利南高等学校 (履修者9名)

講師: 藤間大智(日本舞踊家 わざをぎ代表)



### 高校の先生より

本校の特色のある授業科目の一つに「演劇Ⅱ」歌舞伎講座があります。礼の仕方、着物の着方、たたみ方など日本文化の基礎知識から、日本舞踊や歌舞伎などの伝統芸能を実技まで含めて学んでいます。

1学期は基本的な所作などを身に付ける日本舞踊を学び、2学期からは新歌舞伎と呼ばれる「修善寺物語」を学びました。「もっと声を出して」「手傷を負った人の歩き方はこう歩くんた」「袴はこうしてたたむんだ」などさまざまな指導の言葉が飛び交います。初めて歌舞伎を学ぶ生徒も大変ですが、指導の方ももっと大変です。

修了公演は1月25日に行われました。稽古時間が不足するなか、本番はどうか、はらはらしましたが、なんとか無事上演できたことは素晴らしいことでした。アンケートでは、歌舞伎の発表会を見た3年生の6割が、「伝統芸能に興味、関心を持つようになった」と回答してくれたのは、うれしいことでした。



### 授業担当の先生より

学習指導要領「体づくり運動」の学習教材として準備体操に取り入れました。遅いテンポ、今までに経験のない特有のリズムや動作、自分で歌いながら動くことなど児童たちにどのような反応が得られるかは未知数でしたが、指導開始後は積極的に取り組む児童が多く、良い意味で想定外でした。

児童たちは歌詞の覚えも早く、大きな声が出ました。授業外の掃除の時間などで、ひふみ体操の一部をやっているのを見かけもしました。

開眼片足立ちの計測においても改善が見られ、来年度も取り上げる予定です。

### 事務局より

昨年度のむすびの会主催講座にて、完成した体操を披露させて頂きました。この度、文教大学附属小学校のご協力により教材として児童に指導する機会を得ることが出来ました。今年度の講座ではここで得られた研究報告を致します。

## 5. イベント主催

1) 文楽鑑賞+バックステージ見学+吉田勘彌先生(人形遣い)による解説  
2016年5.22, 9.11, 12.10, 2.11(東京公演全4回)(参加者人数合計69名)



### 事務局より

開演直前や直後に楽屋を訪問し、演者さんとすれ違ったり、裏方さんの様子にも触れながら、間近に人形の解説を聞き、人形を持たせて頂くなど、むすびの会ならではの機会です。まだ未参加の会員様には是非ともご参加頂きたい企画です。

14) 落語についてのお話と落語鑑賞

2017.2.3 千葉県浦安市立見明川小学校 (4年生 83名)

講師：三遊亭円左衛門(落語家 真打)



すじく楽しくおもいつかたです。そはやおどんご、おまんじゅうを食べているときにすじく音などおもしろい感じがたくさん伝わってきました。上手と下手の向き方をかえながら、声もかわって聞いていて何人登場人物がでてきたのかすぐにわかりました。私にはなかなかできない仕事でした。時間半分もの落語をしゃべってくれたこと全部ありすり言えなくてすじく思いました。長い間みんなが聞こえる声を出してつづかれていても顔にうしろをむいていないところがすじかたです。つづいて全部かきりつして落語を覚えていくなんてさすが師匠と思いました。本日も今日の落語は楽しくして落語はこんなにもおもしろいんだなと

保護者様からの感想

今まで落語は年に一度位テレビで見る程度で、馴染みがありませんでした。今日、ライブで落語を聞いて落語、江戸時代の人々の生活にも興味が湧きました。子どもも同じことを申しておりましたので、これを機に落語 小噺 江戸時代について子どもと一緒に勉強したいと思います。

4. 研究・調査活動事業

1) ひふみ体操の研究指導

むすびの会作成ひふみ体操を、文教大学付属小学校にて2016年9月2日～12月2日間の週1回「舞踊」の授業(1年生53名、3年生43名)において指導しました。

講師：小田ひとみ(千葉敬愛短期大学) 村松知香(文教大学付属小学校) 森田ゆい(むすびの会)

児童からの感想

色々な動きがあって、良い運動になりました/疲れました。昔の動きが知れて良かったです。侍のエイ、ヤーが楽しかった。飛脚の3回ジャンプが難しかった。最初出来なかったけれど、最後はやれるようになりました。



8) 日本舞踊って難しいの？

2016.9.16～17 横浜市立市ヶ尾中学校 交流会と事前学習 (希望者 15名)

講師：藤間多京(日本舞踊家 希京会主宰) 指導補助：藤間卯京、藤間京綾、藤間京泉



生徒さんからの感想 (一部抜粋)

今回は、日本の伝統文化の踊りを教えて下さって本当にありがとうございました。僕がこの講座にしようと思ったきっかけは、お寺に行くきかいがあり、合計で100人近くのお坊さんのお経を唱えているところを見て、感動したのがきっかけでした。自分が思っていたよりも難しかったので色々大変でしたけど、近くにいる先生が教えて下さったので、取り組むことができました。(二年男子) 私の友達が日本舞踊をやっていて、一度見たことがありましたが、今回、私自身が踊ってみると、見た時の美しさや驚きもありましたが、自分が踊ったときの楽しさも、より感じることができました。(三年女子)

指導補助の先生からの感想

藤間多京先生が、市ヶ尾中学校で教え始めたのは1999年からです。今回が18回目となりました。毎回、手伝いとして参加させていただき、とても多くのことを学び、気づかせていただいております。生徒さんからの質問に答えることで、わが身を振り返る、よい機会にもなっております。

9) 落語の鑑賞と実演指導

2016.9.30,10.5 お茶の水女子大学附属小学校(小学4年生 111名)

講師：三遊亭円左衛門(落語家 真打)

事務局より

本物の落語を鑑賞したのち、後日子ども達が語る落語に師匠からアドバイスを頂きました。子ども達の落語発表では、自分達で考えたアドリブ動作を含めたり、語りに工夫が見られたり驚きの仕上がり。師匠も舌を巻き、お褒めの言葉が続きました。また担任の先生から普段と違う顔を見せる児童もいたと聞き、嬉しくなりました。



10) 留学生対象の落語講座

2016.11.30 十文字学園女子大学 (留学生別科 40名)

講師：三遊亭円左衛門(落語家 真打)

生徒さんからの感想

日本の落語は中国の「単口相声」という笑い芸と似ています。1人で物語を表現します。

落語はざっと見ると簡単な芸だと思いが、実際に扇子と手拭しかない道具を使って、落語家の声、表情、ほぼ上半身で演芸するのが想像するより難しいです。一人で三人や四人のキャラを演じることは、すごいです。



11) 日韓交流イベント(明治大学情報コミュニケーション学部と韓国成均館大学芸術学部の交流会) 地唄舞指導、発表当日の着付け

2016.9.18~12.3 明治大学情報コミュニケーション学部波照間研究室(13名)

講師：神崎貴乃介(堀派神崎流師範)、宮本恵美子(着付け講師)



事務局より

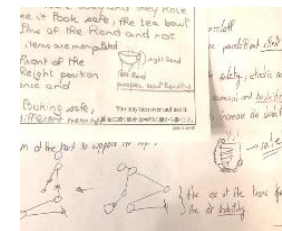
日本側からの発表は、東京～京都～沖縄を旅するお芝居が演じられ、劇中で東京：AKBの踊り、京都：舞妓さんの踊り、沖縄：琉球舞踊 そしてフィナーレでは全員でエイサーを踊るという内容でした。9月から開始された舞妓班の地唄「黒髪」では、男子1名を含めた5名が立派に舞いました。しかもゼミ員による地唄の生演奏付き！韓国側、日本側いずれも素晴らしいパフォーマンスで、楽しい交流会でした。

12) 留学生中心の理工学部大学院生対象に茶道の動きを英語で紹介

2017.1.19 慶應義塾大学大学院理工学研究科

Mechanical Interface Design(授業履修者21名)

講師：中澤宗寿(表千家講師)



教員からの報告

留学生が大半の授業で、日本の動きを紹介したいと考え、茶の湯に着目し、道具と腕の操作を中心とした動きについてデモンストレーション付きの授業をお願い致しました。

支点や重心に触れながら安心感を与える動きについて講義くださり、学生に大変喜ばれました。

13) オリピック パラリンピック教育の一環としての伝統文化講座

「日本の伝統芸能(狂言・日本舞踊)とバレエ」

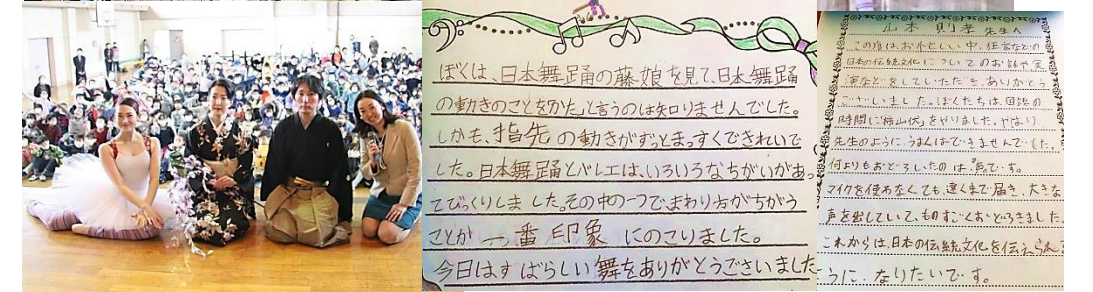
2017.1.19 大田区立調布大塚小学校 (全学年と教員 300名)

講師：狂言 山本則孝(狂言役者 大蔵流山本家)

日本舞踊 藤間加賀美(日本舞踊家 かがみ会会長)

バレエ 川上愛以(バレリーナ 井上バレエ団所属)

解説 森田ゆい(伝統芸能研究家 むすびの会)



教員からの報告

三つの芸能を一度に解説付きで比較してみられて分かりやすく、児童にとって伝統文化に触れるよい導入となりました。特に6年生にとって狂言は、教科書で学んでいた内容の実演指導を頂き、自分達とは全く違う声の使い方に驚きを感じていました。